

インナー大会 プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ）ヨコハマシ立ダイガク	フリガナ）コクサイソウゴウカガクブ	フリガナ）フジサキ ハルヒコ
横浜市立大学	国際総合科学部	藤崎 晴彦ゼミ

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 内動画 （有・無）	動画使用 スライドページ
フリガナ）フジサキッズ	フリガナ）オカザキ ユウト	4	無	
フジサキッズ	岡崎 悠音			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物（例：商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート）

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。

研究テーマ（発表タイトル）
チューター×フレンドで不登校対策&支援

※必ず「企画シート作成上の注意」を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

私たちの研究目的は、不登校の生徒が増えることを防止することに加え、長時間労働・過労労働を課されている教員への負担を軽減することです。調査を進めていくと、学校生活に関して「授業に追いついていけない」「友人関係がうまくいかない」などといった悩みを抱える児童生徒と同様に、教員も「保護者との関わり方が不安」「生徒に対する指導があっているのかわからない、自分には指導できないのではないか」といった悩みを抱えていることが明らかになりました。教育方針・環境が多様化する中で、児童生徒も教員も負担なく学校での生活を過ごすことができるような方法を提案します。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

文部科学省の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果(2017)」より、全国の小中学生のおよそ 1.5%が不登校になっていることが明らかになりました。私たちの発表では、不登校を「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により児童生徒が登校しない・あるいはしたくともできない状況にある者(病気、経済的理由は除く)」と定義します。同調査より、児童生徒の学年が上がるにつれて不登校児童生徒の人数が増加しており、深刻な問題となっていま

す。また、文科省は「不登校児童生徒への支援の在り方(2016)」で個々の状況に合わせた支援をすることを教員に求めています。

3. 研究テーマの課題

現状、不登校児童生徒の増加が続いている原因として、普段の仕事量が多いため、教員がサポートに割く時間がないことがあげられます。また、相談内容が複雑な場合もあるため、同世代の・第三者の立場にいる相談相手が求められていると考えられます。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

課題の解決策として、学生チューターを積極的に導入していくことを提案します。チューターは、学習のアドバイスを中心に生活面でもサポートを行うスタッフです。すでに導入している学校もあり、家族や担任の教員に言いにくいこともチューターには話せる、安心感がある、という意見が出ています。チューターから児童生徒の様子について聞くことができれば、教員も児童生徒にさらに寄り添った指導ができるのではないかと考えました。また、横浜市の不登校対策事業として「ハートフルフレンド」という支援があります。不登校で家庭にひきこもりがちな児童生徒に対し、心理の専門家の指導をもとに、大学生・大学院生(ハートフルフレンド)を家庭に派遣し、状況に寄り添いながら一緒に過ごすこと(横浜市 HP より)を目的としています。この学生チューター制度とハートフルフレンド制度を掛け合わせ、普段から学校にいてくれる学生チューターと一緒に校外で活動することができれば、児童生徒たちの心のケアに役立てるのではないかと考えました。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

6. 結果や今後の取り組み

学生チューターやハートフルフレンドの制度を知ってもらい、学校生活に不安や悩みを持っている児童生徒たちに気軽に話してもらえる環境を作ることが重要だと考えました。

7. 参考文献

- ・H29 年度 厚生労働省・文部科学省委託 みずほ情報総研株式会社
過労死等に関する実態把握のための労働・社会面の調査研究事業（教職員に関する調査）
<https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000364706.pdf> 2019 年 9 月 16 日最終閲覧
- ・過労死等防止啓発パンフレット 厚生労働省 https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11202000-Roudoukijunkyouku-Kantokuka/0000138040_1.pdf 2019 年 9 月 16 日最終閲覧
- ・H28 年度 教員勤務実態調査 文部科学省
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/09/___icsFiles/afieldfile/2018/09/27/1409224_001_3.pdf 2019 年 9 月 16 日最終閲覧
- ・児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果(平成 29 年度)
https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00400304&kikan=00400&tstat=000001112655&cycle=0&tclass1=000001120595&tclass2=000001120695&tclass3=000001120699&result_page=1
2019 年 9 月 16 日最終閲覧
- ・若者と未来を創る 京都市ユースサービス協会 <http://ys-kyoto.org/about/youthworker/> 2019 年 9 月 11 日最終閲覧
- ・生徒指導において教師が抱える心理的負担 <http://opac.ll.chiba-u.jp/da/curator/105131/>
2019 年 9 月 16 日最終閲覧

・横浜市 HP 教育総合相談センター

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/soudan/kyoikusoudan/soudan4000.html>

・横須賀市 <https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/8310/volunteer.html>

2019 年 9 月 25 日最終閲覧

・八雲学園中学校高等学校 <http://www.yakumo.ac.jp/feature/tutor.html> 2019 年 9 月 16 日最終閲覧

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経 BP マーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・株式会社日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください